



Ferris University

2014 No.12

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

ヨハネによる福音書 第15章16節

爽やかな工ピソード

理事長 奥田 義孝



もう40年近く前のことになりますが、当時銀行員であった私がロンドンの支店に勤務していた頃のことです。私が担当していた部署に一人の日本人女性（以下Aさん）が採用されきました。その頃の英国では外国人が労働許可を取得することは容易でなくAさんは英国人の家庭で、オペアと呼ばれていた住み込みの家事手伝いをしながら、就職先を探していました。彼女が採用されてから1週間ほどしたある朝、英国人男性から電話がかかってきました。そして「お宅に勤めているAさんは昨夜交通事故で意識不明の重傷を負い、救急病院で開頭手術を受けた、従つて今日から欠勤する」というのです。当時は採用後1ヶ月の試用期間が設けられ、雇用者は本人の働きぶりを見た上で自由に解雇することが出来ました。就職後1週間で欠勤すれば、即時解雇でも何ら問題はなかったのです。しかし、とにかく様子を見てみようというこになり、私が病院に行ってみると、病室の前に初老の英國人夫妻が目を真つ赤

にして立っていました。Aさんは前夜遅く、最終バスに飛び乗ろうとして転落し、頭を強打して救急病院に運ばれたというのです。彼らはAさんがオペアをしていた家の夫婦で、Aさんは既に転居し独立していましたが、手帳にあった電話番号に病院が電話してきたため、深夜病院に駆けつけ、徹夜で付き添っていました。私は「自分たちはAさんとはもう縁がなくなっている。同じ日本人だし、今は勤務先でもあるそちらで面倒をみてくれ」と云われるのではないかと内心思っていましたが、しかし、その夫婦は「Aさんは退院し、体力を回復して帰国出来るまで、われわれが自宅に引き取つて世話をするから、どうか安心してくれ」「何の責任もない銀行の上司がこうやって来てくれるとは彼女はなんと幸せいなのだろう!」というのです。

私は感銘を受けるとともに、卑小な内心の思いに恥じ入りました。当時の英国は、英國病と揶揄され、ボンドも下落の一途を辿っていましたが、ごく普通の市民であるこの夫妻の姿に接して、改めてキリスト教育である英國の底力を感じられる思いでした。

女子学院短期大学は、戦後の発足時、中学校・高等学校と校舎を共有していましたが、一九五七年に短大政科専用の校舎「一号館」が落成しました。この「一号館」は旧「二号館」と並んで建ち、外壁も同じく鉄平石で覆われた趣のある建物でした。

短大政科がフエリスにおける任を終えた後、「二号館」は中学校・高等学校の教育のため用いられていましたが、老朽化の問題もあることながら、そもそもが短大政科の教育目的に適うように設計されたという事情もあり、あまりませんが、「For Others」を教育理念とするフエリス女学院に変わることになりました。

「二号館」は短大政科の同窓会組織である中学校・高等学校の教育のために建て直すことにしました。

時代の流れとほいながら、家政科の廃止した。勿論、英國人の全てが同じである筈もありませんが、「For Others」を教

●ご寄付の方法

原則として一口一千万円としていますが、金額にかかわらずお受けいたします。専用の振込用紙で、名の下に様々な奉仕活動をおこない、現在のフエリス女学院大学のために尽してくださる方には、改めて敬意を表し、感謝の気持ちを記させていただきます。

最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。継続的にご寄付をくださる方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度をご利用可能

山手二号館と家政科の教育

学院長 大塩 武



同窓生の皆様に挨拶の機会を与えられましたこと、ありがとうございました。

二号館が完成した頃は、まだ桟橋線が開通していなかったので、桜木町から乗った市電を元町で降りて、急勾配を登り、通用門をくぐると、何処とぞ、お洒落な芸術気が漂はぐみ、やがて右手に「二号館」が見え、左手の短大音楽科の建物からピアノの音が聞こえてきたそうです。

フエリスの短大政科の教育は、高校まで環境の整備、拡充を図るために、維持協力会へのご協力を通じてお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

〇年の学院創立一五〇周年に向けて、グランドデザインの策定を行つており、校舎の整備についても検討していく予定です。

大学のさらなる発展、教育・学習環境の整備、拡充を図るために、維持協力会へのご協力を通じてお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

維持協力会のご案内

「フエリス女学院維持協力会」は、

一九九五年に設立され、以来、同窓会、卒業生の皆さんから多大なるご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

二〇一三年度末までに五億三一〇〇万円が、そこから四億三一〇〇万円が校舎整備のために使われました。大

学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス八号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきました。現在、二〇二〇年の学院創立一五〇周年に向けて、

大学のさらなる発展、教育・学習環境の整備、拡充を図るために、維持協力会へのご協力を通じてお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

学長挨拶

学長 秋岡 阳



フエリス女学院の建学の精神は、「ギリスト教信仰に基づく女子教育」、教育理念は「For Others」です。と書くと「誰でも知っています」と言われそうです。しかし、このように学校の目指すものや、学校が大切にする理念が百年以上もぶれずに継承され、しかもそれを誰もが知っているというのは、実は素晴らしいところです。

今、日本中で「大学改革」といふことが言われています。少子高齢化・グローバル化がすすみ、社会が大きく変化するなか、旧態依然のままで日本の大学は立ち行かなくなる。国は、全国の大学に各校の「ミッション」を明確にせよと言ふようになりました。何のために存在する学校なのか明確にしなさい、というのです。似たり寄つたりの大学がたくさんあっても仕方ない。しかし本学は何も慌てる必要はありません。そもそも「ミッションありき」の学校なのですから。大規模総合大学がスケール・メリットを活かした改革を進めるなか、本学の時代を切り拓く「フエリス女学院大学」でありたいと思います。



「アッピング」が行われました。文学部では学科名称を変更し（日本文学科→日本語日本文学科、英文学科→英語英米文学科）、教育内容もより時代に即したものに。音楽学部では、演奏学科の定員を三〇名に

立、建学の精神と教育理念を具体化する取り組みを積極的に展開しています。大学の基本方針の再確認に加え、各学部ではカリキュラムのヴァージョン・アップが行われました。文学部では学科名称を変更し（日本文学科→日本語日本文学科、英文学科→英語英米文学科）、教育内容もより時代に即したものに。音楽学部では、演奏学科の定員を三〇名に

うフエリスの原貌を見つめ直す作業になります。しかし、「ギリスト教」「女子教育」「For Others」をただ題目として論じるのではありません。具体的な実践と結びつけ、その良さや意義を学内外にアピールできなくてはいけない。大学では昨年から「13-16 PLAN」という中期計画を

後になるとは思いませんでした。わたし母校の国際基督教大学に赴任して間もなく、全国の大学で全其闘運動が盛んになりました。教授会でも若輩のわたしは学生たちに近く造反教師と言われましたが、中島先生は大学の重鎮ともいってべき存在で、意見は対立することもありましたが、わたしたち若手教員にとって間もなく、全国の大学で全其闘運動が盛んになりました。教授会でも若輩のわたしは学生たちに近く造反教師と言われましたが、中島先生は大学の重鎮ともいってべき存在で、意見は対立すること

もありましたが、わたしも信頼できる先輩教授でした。学長代行として学生たちとの団交に望まれた際も、誠実に、しかも毅然として対応されたので、彼らからも尊敬されていました。

やがてフエリスの学院長になるために退職されたので、先生とお会いする機会はなくなりましたが、わたしが国立教会にいた頃は、先生はなかなかシャイで、また情の細やかな方でした。それは特に晩年にはマリ夫人に向かっていました。脳梗塞で倒れられた夫人を本当に大事に介護され、病院、リハビリセンター、老人ホームと変わつても、「人でいるのが不憫で」とおっしゃって、毎日見舞わっていました。「大変ですね」と申し上げたら、照れたようにならなかったかな。でも僕が行かないといつたから」と言われた時、笑顔を思い出します。ご家族ばかりでなく、フエリスに関わる人たち皆が、先生のやさしさに包まれていた幸いを思

中島省吾先生を偲んで

前学院長 岡野 昌雄

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。ご入会後、会員の皆さまには、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フエリス女学院維持協力会より「緑の丘の上で」をお送りして、維持協力会の寄付金使用状況報告をいたします。

会員登録

です。ご希望の方は、担当までお問い合わせください。

- 維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金として優遇措置が受けられます。確定申告のための必要書類は、学院からお送りいたします。
- 寄付金控除
- 税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼受領証」か「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。
- お問い合わせ・資料請求先
フエリス女学院本部事務局
電話 ○四五—六六一一四五一一
E-mail hsoumu@ferris.ac.jp

りてら・りべるて・Fグループ合同総会

2014年6月14日・カイパー記念講堂にて



第11回合同総会は、梅雨の晴れ間の山手カイパー記念講堂に約200名の出席を得て、開催されました。

開会にあたり、同窓会を代表してFグループ熊本会長より、りてら小澤会長、りべるて金子会長の紹介と、3回窓会の活動に対しても皆様より寄せられたご理解、ご協力への謝辞が述べられました。

礼拝は、奥田義孝学院理事長、奏楽は、中川葉音さんにお願いしました。奥田先生は、ヨハネによる福音書第15章12節、17節を朗誦され、「For Othersの原点」と題してお話をされました。先生は、自分で選択していない生まれながらのクリスチヤンで、それはミッションスクールの卒業生にも通じるところがある。ある方の葬儀に参列して、そこに集まつた方々が故人に等しく愛を注がれていたと感じていたことは、

2000年前の主イエスキリストに通じる神の究極の愛である。「For Others」について、昨今、「We do something for Others」社会貢献の意味で捉えられることが多いが、改めて、原点にある、互いに愛し合うこと、私たち一人ひとりの間に自立した人格の育成をもつて神と人の前に立つことを意識すると、立つこととしないことで大きな違



いがある、とのお話をされました。

ご来賓としてご臨席いただきました大塙学院長より、日頃の同窓会活動への感謝のお言葉と、2号館建て替え工事に関して、教室として使用していた同窓生に温かいお言葉をいただきました。

次に、Fグループの川寄香織さんにによる独唱、「主よ、感謝します」を、パイオルガンの伴奏でお聞きしました。心に響く美しいお声がカイパー記念講堂をやさしく包み、皆様聴き入つっていました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をしてカイパー記念講堂を後に、それぞれの会場に向かいました。
来年は6月13日(土)、山手で開催する予定です。皆様お誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



りてら同窓生のつどい

6月14日（土）、8号館アートサロンにて、りてら同窓生のつどいが開かれました。夏を思わせるような一日でしたが、2号館の工事中にもかかわらず、カイベー記念講堂での合同総会から、たくさんの方々にお集まりいただきました。

60名余りの出席者をお迎えした同窓生のつどいでは、まず、小澤会長よりご報告がありました。現在、学納金とは別途扱いのため振込みが激減している終身会費を、来年度新生より、4年生の後期授業料と一緒に納入いただけるようになったことと、6月より、山手りてら同窓会室が開室となったこと、の2点です。

その後、ご臨席を賜った、奥田理事長、秋岡学長、荒井副学長、谷文学部長、大野国際交流学部長、立神音楽学部長、星野学院本部事務局長より、フェリスについての様々なお話を伺いました。特に、会場となつたアートサロンのある8号館取扱にまつわる奥田理事長のお話には、「一同喝采！」となりました。

美味しいお弁当を頂いたあとには、世代を超えて和やかに語り合う同窓生の輪が幾重にも広がり、何名かの方々から近況のご報告をいただきました。63年前の家庭教師の先生とその教え子が、つどいの会場で邂逅し、思わず抱き合うというハプニングもあり、りてらに集ったたくさんの同窓生の思いに触れる一日でもありました。来年も、たくさん皆さまのご参加をお待ち申上げております。

（報告 森由美・83J）



梅雨の晴れ間の6月14日(土)、カイベー記念講堂に於て合同総会を行い、家政科記念館にて、秋岡陽学長、円谷幸輝大学事務部長、太田素子総務課長のご臨席のもと、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶に続き、出席者委任状合計により総活動報告、決算報告、会計監査報告、2014年度に於て奨学生の目録が秋岡陽学長に贈呈されました。

秋岡学長より、大学改革のグランドデザインの考え方について、具体的には、フェリス女学院しさである3つの理念を挙げられ、①キリスト教に基づいた教育、②女子教育、③For Othersと原点回帰をより強く表現していく事をお話くださいました。

また、「りべるて奨学生」贈呈に対するお礼の言葉と共に、フェリス女学院は心ある多くの方々からの寄付金による助力で創立されたとのお話を交え、学院維持協力会への同窓生の協力をお願いになりました。

懇親会では、奥田義孝理事長、谷知子文学部長、大野英二郎国際交流学部長もおみえになりました。

また、ご出席の皆様も音楽学部としてFグループ会員の生徒さんによる合同発表会を春に開催予定です。

音楽学部としてFグループの最新情報はホームページとFace bookでお知らせしておりますので、皆様是非ご覧ください。

（報告 三藤裕子・D54）



第25回 リべるて総会

Fグループ総会

一一一三年度 学位授与式

同窓会では、今年、

●文学部 288名

●国際交流学部 210名

●音楽学部 92名

の卒業生をお迎えすること

ができました。

6月14日、カイベー記念講堂で行われた合同総会では、幅広い卒業回の皆様と講堂全体に響き渡るオルガンの調べの中で共に礼拝を守り、卒業生の献唱があり、最後に全員で校歌を歌いました。続いてフェリスホールにてFグループ総会を開催いたしました。

熊本会長の挨拶に始まり、秋岡学長から

創立以来続く『キリスト教信仰・女子教育・

For Others』の精神を今後も守っていくこと、

そして奥田理事長、荒井副学長、立神音楽学

部長、星野事務局長からも貴重なお話をいた

だきました。

議事では13年度会計報告、会計監査報告

14年度予算案、13年度活動報告、14年度活動

予定がそれぞれ承認されました。その後、新卒業生二名によるフルート、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。

本年度もジョイントコンサート・研修会・

音楽学部のための募金コンサートを秋に、新しい試みとしてFグループ会員の生徒さん

による合同発表会を春に開催予定です。

は、校章入り三笠山、カードケース、ファ

イル、ペンケース等を用意しました。

学生、保護者の皆様には、事前に大学事務局が書面でご案内してくださりました

で、多くの方がお立ち寄りくださいました。

特に保護者の方々には好評でした。

ましたが、同窓会を身近に感じていただけたのではないかと思つております。

大学側のご配慮に改めて感謝申し上げます。

（報告 安藤美保・44回）



同窓会のグッズ販売

今回初めての試みとして、3月20日の学位授与式と、4月1日の入学式で、同窓会コーナーを設けていただきました。りてらは、校章入りのペン、サブバッタ、ファイアル、アクセサリー等を、また、Fグループは、音楽会のご案内、書籍・CD等を用意しました。一方、りべるては、校章入り三笠山、カードケース、ファイル、ペンケース等を用意しました。

学生、保護者の皆様には、事前に大学事務局が書面でご案内してくださりました

で、多くの方がお立ち寄りくださいました。

特に保護者の方々には好評でした。

ましたが、同窓会を身近に感じていただけたのではないかと思つております。

大学側のご配慮に改めて感謝申し上げます。

りてら会員の皆さま

会長 小澤 美智子(70)

大学祭実行委員会

委員長 大石 梨加(英文3年)

た多くの卒業生の方々の様々なご支援により、大学祭も毎年良いものへと発展しております。実行委員一同、厚く御礼申し上げると共に、



中で開催されています。同窓生の繋がりはフェリスらしさの繋がりなのではないかと思います。イベントをご紹介しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

嬉しいご報告をいたします。

今年度のテーマは "with a twinkle in our eye" 共に輝くこと。これは、私たち実行委員大学側にお願いしておりました。この度、会員の活動だけでなく、ご来場者や大学祭に関わる全ての方が、フェリス生と共に目を輝かせて参加できる大学祭にしたいと願い決意いたしました。大学祭は、出会ったお客様との感謝をもってご報告いたします。

皆さま、お健やかにお過ごしのことと存じます。いつもよりてらの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今年度新たに490余名の新会員をお迎えし、りてらは会員総数17554名となりました。

昨年掲げました活動目標の一つ目、「学年幹事会の見直しと活性化」については、幹事会欠席が続く幹事の方々にお便りを差し上げ、ご事情によっては幹事交代のお願いをいたしました。

五月に開催された第一回学年幹事会において承認されましたので、今回てら全会員に会報と共に学年幹事一覧表を同封いたしました。

幹事がいらっしゃらない学年が空欄になつております。該当の学年の会員で、幹事をお引き受けくださる方がいらっしゃいますようお願い申し上げます。

母校を想う気持ちとFor Othersの精神は、世代を超えて受け継がれています。学年幹事会や「同窓生のつどい」はそうした先輩諸姉と後輩諸妹が集う温かい雰囲気の

月よりカフェテラス・フェリスモリニュー・アルオープニアいたしました。外壁は昭和初期の色に復元されております。懐かしい大学跡地37番地のご案内でもありますので、どうぞクラス会等にご利用くださいませ。

ハンドベル・クワイア 代表 鹿野 友梨奈(日文3年)
「ハンドベルは、17世紀頃イギリスで生まれました。最初は、教会の塔のベルを演奏する人たちの練習楽器として使われたのですが、のちに演奏のための楽器として認められるようになりました。人がいくつかの音を担当し、

が、一人が受け持つ音の数を増やすなどの練習を重ね、工夫して様々な曲に挑戦しています。樂譜に慣れていないメンバーもいますが、呼吸を合わせ二つの曲を作り上げられることが、この楽器の魅力です。曲は、教会の暦や演奏の場に合わせて、相談して選びます。

最近は校内活動の他に、福祉施設や病院、百貨店等から演奏依頼をいただいています。同窓生の集会での演奏もお受けします。お気軽にご連絡ください。

現在は五人で活動しています(メンバー募集中!)。人数によって演奏できる曲の規模が変わるため、決して充分な人数ではありません



山手から山手へ 伝統を未来へ伝える

英語英米文学科・英文学科 教授 渡辺 信一



赴任して改めて思いますが、フェリス女学院大学はとても良い大学です。学生たちがおしなべて素直で明るく前向きです。特に二年生が初々しい。彼女たちが果敢に課題と格闘する姿に、このまま真っ直ぐに伸びてほしいと祈る気持ちで一杯です。

日本女性の自立のために、フェリス女学院は、孤立ではありません。自立して初めて「他人のために生きる、他人と共に生きる、他人と信頼し合う、他者を尊敬し自分を大切にすること」ができます。

明治3年からの歴史と伝統を誇るセミナリとして、その良さをさらに生かすフェリスならではの方法がないかと考えるので、たとえば、かつては女性に押しつけられていた家事／家政が、今や、男女を問わず、より必要とされている時代です。そして、調べてみれば、フェリスには家政科があり、有為な人材を輩出していました。この一旦途切れた伝統を、新たな装いのもとに蘇らせることができないでしょうか。

今、4年生は、現代に必須なプラスαの知性や知識を欲しています。彼女たちの関心は、

学科の枠を超えて、ファッショングループ・化粧・料理、芸術的な素养、社会人としての振る舞いやマナーなど、多岐の分野にわたります。国際社会人としてのたしなみを身に付け、社会や家庭、「国事／国政」や国際社会において更に活躍する卒業生を送り出せるのではないかでしょうか。

あるいは、緑園キャンパスも地格の高い場所です。冬の晴れた夕刻、遠くにくつきり見える富士山から気が流れています。それは、冬や夕刻だけでなく、いつもそうでしょう。ただ、やはり、フェリスと言えば山手です。今はフェリスです」と言いつつ、「良いですね、あのきつい坂を上つて行つたことがありますよ」と少なからぬ方が応じています。在学生にも、校地が山手にあると思って受験した、と言う者がいました。

大学が日常的に山手で授業を行えば、フェリス生としての自覚もいや増しに深まります。土地は恐るべし。英語で言えば、"genius"。山手はフェリスのエートスを醸成し育成している、とは大塩武学院長の言葉です（同窓会会報）第10号参照）。全学部の山手復帰が最も望ましいが、せめて、現音楽学部のように、文学部も国際交流学部も、3、4年生はすべて山手で学べるよう、何らかの工夫が必要だと思います。

実は赴任が遅かつたため、私に残されたフェリスの時間は少ないのですが、フェリスに貢献すべく努めますので、どうか、叱咤激励をお願いします。

同窓会室 より

・りてらは、様々な催しやイベントに参加しています。中でもオリジナルグッズ販売は、同窓会の存在を皆様にお知らせする活動の場となつてまいりました。例年通り大学祭での

ショップ参加、昨年は若い同窓生にもお手伝い頂き、のぼりを立てて、又、昨年度より、山手での学位授与式（卒業式）、入学式にて、卒業生・新入生やそのご家族に販売を行い、大変ご好評を頂きました。大学祭は、今年も11月2日（日）3日（月）緑園キャンパスにて開催されますので、どうぞ皆様でお越し下さい。



・昨日スタートしたホームページでは、りてらの最新情報をお伝えし、また、お名前やご住所の変更もして頂けます。旅くらぶなどの各種お問合せ、卒業生の近況などご存知の方も、Eメールやお電話にて、同窓会室までお知らせ下さい。

なお、山手カフェテラスフェリスは、改修工事が終了し、営業再開いたしました。クラス会などのご予約も受付けておりますので、是非、お立ち寄り下さい。厨房スタッフも募集中です。（045-681-5210）



りてら 2013年度決算報告

（2013年4月1日～2014年3月31日）

●収入の部(円)

科 目	決 算
終 身 会 利 収	11,880,000
預 金 収	16,357
雜 収	10,000
取 入 小 計	11,906,357
前 年 度 繰 越 金	52,754,854
取 入 合 計	64,661,211

●支出の部(円)

科 目	決 算
事務消耗品費	75,601
印 刷 費	37,629
会 報 会 費	2,745,335
通 人 交 手 費	899,246
通 信 費	206,049
通 用 費	951,662
通 用 費	185,750
通 用 費	5,252
通 用 費	24,983
通 用 費	154,100
通 用 費	99,701
通 用 費	852,272
通 用 費	39,260
通 用 費	0
通 用 費	69,300
通 用 費	26,352
通 用 費	1,000,000
通 用 費	70,000
通 用 費	16,470
通 用 費	300,000
通 用 費	777,323
通 用 費	11,111
予 備 費	0
支 出 合 計	8,547,396
次 年 度 繰 越 金	56,113,815
合 計	64,661,211

※今年度の寄付・支援金総額は1,300,000円

文学はエステだ！

安藤 公美(87)

小さな旅くらぶ

学部・学科のいま



市長とティーミーティング
自分史講座の皆さまと

ものとも山の
ものともわか
らぬうちから
指導し、また
教える場を提
供してください
ざみで鍛えて
くださった先
輩方、大学か

同窓生だより

私は、芥川龍之介文学を中心として研究をしていましたが、非常勤先の大手や社会人講座など、その知識を披露する場をいただき、知性と感性を働かせる場を共有できることは何よりも意義深く、楽しい経験です。因みに、美顔を求めて通うエステの語源Aestheticaは、もともと「感性」と「空間」を合わせた複合的な単語のようです。エステとは、身体の表層を美しくするのではなく、感性のもつ知的働きの美しさをいう。文学はエステだ！というわけ。

フェリスとの縁は、一九八三年四月の入学に始まります。九年、新設された大学院に、期生として入り、前後期課程を経て博士号を取得するのが二〇〇三年三月ですから、学び舎としてのフェリスには二〇〇年もお世話になりました。修了後も「文章表現法」ほか、「私たちが学びたいこと」（第一回宮部みゆき「火車」を読む）などの授業を担当、また生涯学習課でも「自分史を書く」「芥川文学探訪」の講師として、後輩や講座を共にする仲間たちと勤しみました。フェリスに関わること三十一年！何気なく選んだ道が、今に至っていることに驚きを隠せません。海の

ら助成を受けて博士論文を単行本にする際に本のカバー絵を描いてくれたり、夜を徹して校正してくれたりした大学時代の友人たち、そして講座を通して学ぶ縁をいただいた方々、フェリスで得たつながりに感謝すると共にこれから益々発展させていかねばと思うこと頻りです。

先日、紀尾井町で行われたキース・ジャレットのライヴを聴きました。会場で、偶然にも教え子と遭遇、優秀な印象そのままに活躍の様子でした。キースは、会場で聴衆に静寂を求めることで有名だから、聴きに来た人は、その創造を邪魔しないといふ唯一の仕事をしてくれるというメッセージです。

芸術が、プレイヤーと鑑賞者の緊張感ある、あるいは積極的な共同作業があつてはじめて成り立つという現象を目の当たりにします。その日のキースの演奏も神がかり的でしたが、そこには、弾かれていたる音以上の何ものかが確実に在ることを感じました。再会が偶然ではないように、文学を読むという行為も同じで、書かれた文字以上は何ものかを確実に在るものとして実感することのできる経験ではないでしょうか。これもまたエステ効果です。

今年は例年より少し早めの九月二七日（土）に、はとバスで東京名所めぐりを行います。清水 緑(83E) 今年は例年より少し早めの九月二七日（土）に、はとバスで東京名所めぐりを行います。詳細につきましては、ましては、

よく「時の鐘」を聞くことも出来ました。実際に卒業以来初めて、「りてら」のイベントに参加いたしましたが、30年ぶりに会う友人との語らいも、在学中と変わらずに大変楽しく、時間の経つのを忘れてしまった小旅行でした。

フェリスは、前進し続けています。編成が変わり、「もう随分昔に卒業したから、大学がどうなっているか分からぬ……」という方のためにも、変わらぬ教育理念のもと、近年カリキュラムが一新、名称も変わった学部・学科の「今」をお伝えします。

〈文学部〉

・英語英米文学科

古典・現代日本文学を読み解くだけでなく、日本語に関わる文化・社会・

社会を、世界的視野で学ぶ。

・日本語日本文学科

効率よく、実利的に生きることを強いる人生の中心に文学があること、声高に「絆」を叫ばずとも、

ライオンやツイッターをオフにしていても、尚それで

解、人との共生、対人関係能力を考え、又その調査・研究法を学ぶ。

〈国際交流学部〉

・国際交流学科

世界の文化・社会を学び、グローバルな視点・発想を身につけ、国際社会に発信できる行動力を習得する。



今年は例年より少し早めの九月二七日（土）に、はとバスで東京名所めぐりを行います。清水 緑(83E) 今年は例年より少し早めの九月二七日（土）に、はとバスで東京名所めぐりを行います。詳細につきましては、ましては、

よく「時の鐘」を聞くことも出来ました。実際に卒業以来初めて、「りてら」のイベントに参加いたしましたが、30年ぶりに会う友人との語らいも、在学中と変わらずに大変楽しく、時間の経つのを忘れてしまった小旅行でした。

（上）市長とティーミーティング 自分史講座の皆さまと

ものとも山の ものともわか らぬうちから 指導し、また 教える場を提 供してください ざみで鍛えて くださった先 輩方、大学か

最後になりましたが、文学に興味関心をおもちの方、国際芥川龍之介学会（宮坂覺会長）にて一緒に

ご参加をお待ちしております。

りてらアーカイブ 9

今回は、文学部名誉教授 小塩トシ子先生です。永年にわたり フェリスにご尽力され、翻訳・執筆活動でもご活躍されています。

「思い出すことなど」

小塩 トシ子

一節、「汝の若き日に汝の創り主を覚えよ」と書かれ、ここで毎日礼拝が行われていました。

そこは、かつての山手キャンパス三号館の最上階にあって、百数十名は収容できる三四三大教室。やわらかい春の日射しが正面の講壇に向かって右側の広い窓からふり注ぐあたり、どなたの揮毫であつたか垂幕に次のような『伝道の書』(現行新共同説では『コヘレトの言葉』)の

大学紛争とも呼ばれていた世の中全体を揺るがす歴史のうねりが一応の収束をみたとはい、一九七五年の四月に新しい職場フェリスに移った私には、まだ教育環境について内心の不安がありました。

英文学科スタッフの陣容も半数が入れ替わったばかりだと聞いていましたし、学生たちはその影響で落ち着かぬ状態ではなかろうかと考えたのです。ところが辞令を受けに学長室へうかがつてみると

(当時の宮本武之助学院長も前任校で紛争の矢面に立たれたとか)、にこやかな歓迎のことばと、壁にかけられたミス・キダーのなんともふくよかな温顔に迎えられ、続いてオリエンテイションで三四三教室に集まつた学生たちの明るく清純な姿に接して、こわばつていた肩が解れたのでした。

以後二四年のあいだ、初めは通勤に四回の乗り換えを要した往復四時間余り、家庭・育児・講義の準備・評価、そして遅々とした歩みの研究のバランスや配分に苦労しました。教育・研究の面でも自

他共に能力不足ゆえの問題を抱えたりしながら、多くの同僚の先生・職員の方々そしてなによりもと言える学生からの支えや後押しを得て勤めを果したと、今つくづく感謝しています。

いつかイギリスから來ていた女性の同僚が「日本の女子大生を見ていると、入学した時は少女でも卒業時は女性になつている」とその成熟度に感概を洩らしていましたが同感でした。でも永年フェリスに居て成熟したのは他ならぬこ

の自分であったのかも知れません。

一学年全体を対象とした英文学史・文學概論・基礎演習からゼミ、課外の夏合宿に至るまで、やがて大学院ができるまでの研究指導など、どの一つをとっても楽しい(時には苦しい)経験でした。

自分が大学生の頃、勉強しました演じもしたシェイクスピアをフェリスで学生と一緒に学ぶ中心に据えましたがテキスト講読はむろんのこと、やがて周辺の文化事情を知る必要を感じ、在外研究を許された機会には、シェイクスピア・インスタイルティュートに身を置きながら時を見つけて英國のあちこちを津津浦浦とまではいかずとも、単身ブリットレイル・バスを大いに活用して見聞できたことは、学院で文学史を講じるのに役立つことでした。それにロンドンやストラットフォードでさまざまなシェイクスピア劇の上演に貪欲なほど出かけて接したこと

も教室での学びに反映できたと思います。

かつて一九八〇年初め頃、世に出た俳優(S・R・ビーチー)が三〇年後の今、老王『リア』を国立劇場で演じているのを来る六月末に観る予定で楽しみです。

演劇と平行してずっと保つてきた英詩、とくに女性詩人たちの仕事への関心がようやく形となつて世に問うことができました。エリザベス・バレット・ブラウニングの長編詩『オーロラ・リー』の翻訳です(九州大学出版会刊)。親しい交わりの



大学紛争とも呼ばれていた世の中全体を揺るがす歴史のうねりが一応の収束をみたとはい、一九七五年の四月に新しい職場フェリスに移った私には、まだ教育環境について内心の不安がありました。

英文学科スタッフの陣容も半数が入れ替わったばかりだと聞いていましたし、学生たちはその影響で落ち着かぬ状態ではなかろうかと考えたのです。ところが辞令を受けに学長室へうかがつてみると

(当時の宮本武之助学院長も前任校で紛

争の矢面に立たれたとか)、にこやかな歓迎のことばと、壁にかけられたミス・キダーのなんともふくよかな温顔に迎えられ、続いてオリエンテイションで三四三教室に集まつた学生たちの明るく清純な姿に接して、こわばつていた肩が解れたのでした。

以後二四年のあいだ、初めは通勤に四

回の乗り換えを要した往復四時間余り、家庭・育児・講義の準備・評価、そして遅々とした歩みの研究のバランスや配分に苦労しました。教育・研究の面でも自

りてら 同窓会室
Gloria in Excelsis Deo!

開室 毎週火曜日・木曜日 10時～16時
(大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)
〒二四五ー八六〇〇
横浜市泉区緑園四一五一三
フェリス女学院大学内
○四五ー八二二一八六九二
○四五ー八一四一八九六六
FAX
URL
<http://littera.gr.jp>
info@littera.gr.jp

りべるて

Vol.26
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるての皆様へお申し出をいただけない状況でございます。その中で、皆様方からの感謝のお言葉を励みに、役員一同、今年も活動してまいります。

会員名簿の管理は同窓会の大切な仕事ですが、転居や地番変更等で住所不明となりますとお手紙をお送りすることができなくなりますので、その節は同窓会までご一報ください。また、お友達のなかでお手紙が届いていない方をご存知でしたら、ぜひご連絡ください。

さて、昨年度も5つの講習会を他の同窓会会員の参加も得て開催いたしました。参加された方から、「楽しかったので、次回もまた来ます」と言っていただけると、とてもやり甲斐を感じます。

今年も会報をお届けできることは、寄稿並びに編集にご尽力くださいました皆様のおかげと、感謝申し上げます。

学院とともに、家政科卒業生にアンケートを実施しましたところ、多くの回答をいただきました。本当にありがとうございました。会員の皆様の思い出や同窓会への要望も寄せられておりますので、今後の活動に生かして行きたいと思つております。その中で多くの方々より、役員へのねぎらいの言葉を頂戴いたしました。重ねて皆様のお心遣いに深く感謝申し上げます。

役員につきましても、新しい方々にご参加いたただたく、会報への募集記事掲載やお声掛け

などをしておりますが、思うようにお申し出をいただけない状況でございます。その中で、皆

様方からの感謝のお言葉を励みに、役員一同、

今年も活動してまいります。

会員名簿の管理は同窓会の大切な仕事ですが、

転居や地番変更等で住所不明となりますとお

手紙をお送りすることができなくなりますので、

その節は同窓会までご一報ください。また、お

友達のなかでお手紙が届いていない方をご存知

でしたら、ぜひご連絡ください。

さて、昨年度も5つの講習会を他の同窓会会員の参加も得て開催いたしました。参加された

方から、「楽しかったので、次回もまた来ます」と

と言つていただけると、とてもやり甲斐を感じ

ます。

今年も会報をお届けできることは、寄稿並

びに編集にご尽力くださいました皆様のおかげ

と、感謝申し上げます。

学院とともに、家政科卒業生にアンケートを

実施しましたところ、多くの回答をいただきました。

本当にありがとうございました。会員の

皆様の思い出や同窓会への要望も寄せられてお

りますので、今後の活動に生かして行きたいと

思つております。その中で多くの方々より、役

員へのねぎらいの言葉を頂戴いたしました。重

ねて皆様のお心遣いに深く感謝申し上げます。

役員につきましても、新しい方々にご参加いたただたく、会報への募集記事掲載やお声掛け

願い申し上げます。

中島省吾先生とりべるて

昨年12月24日、中島省吾先生はご逝去されました。

中島先生は、当時学院長として、家政科の発展改組を成し遂げられました。

家政科が幕を閉じたことは、卒業生としても悲しいことでした。

しかし、中島先生はいつもいつも家政科同窓生を、また、同窓会をお励ましくださいました。

今私たちが活動しております家政科記念館を、理事会において、「短期大学家政科記念館」として永久保存することとしてくださり、家政科同窓会を他の同窓会と同列に大学の中の一つのグループとして位置付けてくださいました。現在、りべるてが活動できる方向を定めてくださったのが中島先生でした。

いつお会いしてもおやさしい眼差しでりべるての話を聞いてくださいました。

これからは、1988年「山手68」に掲載された先生の思いを胸に活動して参ります。

どうぞ、いつまでもりべるてを見守つてください。

心から感謝と哀悼の意を捧げます。

金子 和恵

奨学金贈呈

二〇一四年度りべるて奨学金は、六月十四日里べるて総会の席上、秋岡陽学長に贈呈いたしました。謹んでご報告いたします。



一〇一四年度役員

会計監査	会計	書記	副会長	会長	会書	会計	会務	会計	会計	会計	会計	会計
浅見	郷	北村	金子	和恵	村本	小倉	石井	遠藤木	岩江	鈴木	近藤	岩江
治	三浦由里子	周子	和恵	和恵	とよ子	由紀子	克子	美子	真理子	初枝	昭子	眞理子
佑	佐美美子	池田	和恵	和恵	35	43	43	43	43	44	44	44
D	D	鈴木	和恵	和恵	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	近藤	和恵	和恵	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	昭子	和恵	和恵	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	43	43	43	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	43	43	43	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	43	43	43	51	51	46	46	46	46	46	46
D	D	43	43	43	51	51	46	46	46	46	46	46

家政科卒業生アンケート

このたび、150年史編纂事業の一環として行ったアンケートにご協力をいたしました。おかげさまで多くの皆様からご回答をいただき、貴重な証言を含めた短期大学生活の記録を集めることができました。また、写真、教科書、ノート、作品など思い出深い品々も数多くご寄贈いただきました。大切に保管し活用してまいります。

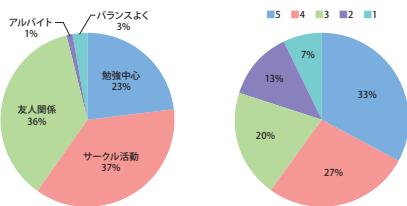
アンケート結果は今後の年史編纂過程で利用する予定ですが、誌面をお借りして集計結果と内容などの一部を紹介いたします。

〈短期大学アンケート実施報告〉

1、調査時期 2014年2月7日
2、発送総数 4,648通発送
3、アンケート集計表
・総回答者数 639名

卒業年	回答数	回収率
1950～55年度卒	18	21%
1956～60年度卒	45	19%
1961～65年度卒	67	15%
1966～70年度卒	121	15%
1971～75年度卒	87	11%
1976～80年度卒	112	12%
1981～85年度卒	126	14%
1986～89年度卒	63	12%
合 計	639	14%

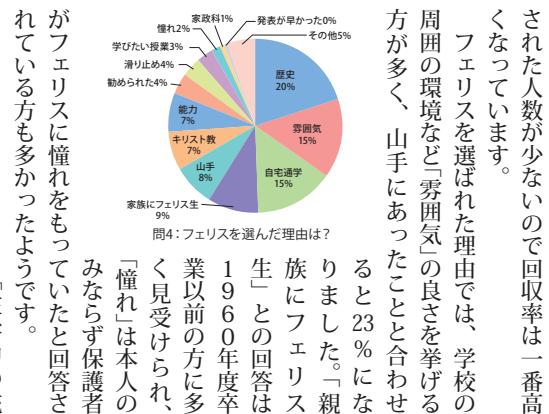
*小数点以下は四捨五入



問6:何に重点をおいて過ごしたか?

「学生生活で何に重点をおいたか」という問いに対しても、

は、勉強、サー



された人数が少ないので回収率は一番高くなっています。

1950～60年代卒業生の中には、何事にも一生懸命取り組む姿勢が見られました。

クル、友人関係がバランスよく回答され、何事にも一生懸命取り組む姿勢が見られました。

行事予定

十月九日

大森先生のお菓子教室

十月三十一日・十一月一日

リベールてバザー

十二月十三日(土)

クリスマス礼拝

二〇一五年

一月二十八日(水)

大村先生のステンドグラス教室

二月十八日(水)

矢吹先生の北欧絵織物教室

献品のお願い

学院維持協力会に協力するため行なうりべてバザーに、ご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださいますようお願い申し上げます。

尚、食料品、衣類は除外させていただきます。(郵送、宅配便可)

受付期間・十月三十日まで

毎週木曜日
十一時～十五時

受付場所・家政科記念館
〒231-1865
横浜市中区山手六八

りべるて
昭和44年新聞部が発行した新聞第32号を探しています。
お持ちの方がいらっしゃいましたら資料室までご連絡ください。
宜しくお願いします。

TEL 662-4411

少ないよう見えますが、もともと卒業生

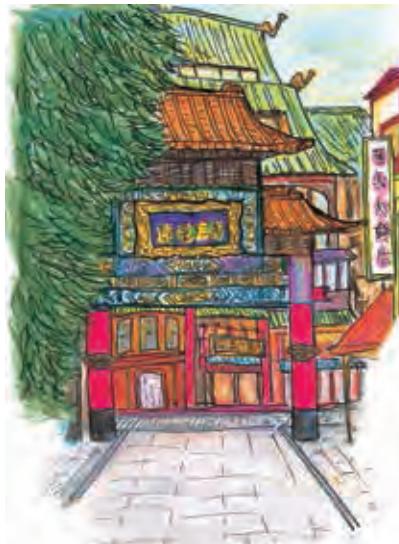
あの頃を訪ねて ～横浜中華街～

昭和30年代から40年代にかけて、中華料理を教えてくださいました。さつた李先生を覚えていらっしゃいますか？中国の方で、ご夫妻で授業をされたそうです。中華料理だけでなく、中国語、中華料理のマナーを丁寧に教えてくださり、当時のプリントを今でも大切に使っているとのお話も伺っています。また、結婚する時に調理用具購入の相談にのついていたとき、お店の紹介をしていただいた方もいらっしゃいます。授業の前には、お当番が中華街まで材料を買いに行つたそうです。

そこで、中華街を訪ねてみました。

横浜は開港後、横浜新田といわれていた一帯を外国人居留地として開発しました。歐米人とともに多くの中国商人や外交官の雇い人が横浜へ来るようになりました。当初は、香港や広東省出身者が多かったそうです。明治のはじめ、横浜に暮らす華僑（約1000人）が、関帝廟・中華会館などを建て街を発展させていきました。この頃は、日用雑貨店、衣料品店、食料品店が大半で、中華料理店は多くありませんでした。

中華街には4つの門があります。東の朝陽門、西の延平門、北の玄武門、南の朱雀門です。山手から元町を抜けると朱雀門が見えてきます。また、みなとみらい線元町中華街駅から朝陽門を入れると中華街通りです。左右には昔からの中華料理店が軒を連ねています。その中の聘珍樓は、



日本に現存するもつとも古いお店で、創業明治20年です。この中華街は、昔、南京町の愛称でも親しまれていました。

袁世凱に追わられた孫文も日本に亡命し、中華街の中で華僑にかくまられて生活していました。

関帝廟は、1862年（文久2年）一人の中国人が関羽の木造を抱いて来日し、現在の地に小さな祠を開いたのが始まりといわれています。日々の暮らしの安寧や商売繁盛を願う華僑の心の拠りどころとなっています。また、横浜媽祖廟は2006年に完成し、華

僑・華人に信仰される海の女神、媽祖を祀っています。

参拝の作法はいずれも、本殿の外にある5つの香炉に順番に線香を供えてから神殿にお参りするそうです。

広東、上海、四川、北京料理を中心に関東で発展した中華街。プロの料理人御用達の調理用具を見たり食事を楽しんだりして、山手に上ってきてください。

10月31日(金)、11月1日(土)

は、家政科記念館でバザーを開催します。皆様の思い出話を、ぜひお聞かせください。お待ちしております。

〈電車でのアクセス〉

- ・渋谷駅から元町中華街駅まで 約40分
- ・和光市駅から元町中華街駅まで 約60分
- ・東京駅から石川町駅まで 約40分
- ・大宮駅から石川町駅まで 約75分

お料理教室

台風接近中の7月10日(木)、お料理教室が開催されました。94歳になられる友井先生は、台風の影響でおいでにならぬ残念でしたが、大森先生が教えてくださいました。

今回のメニューは、夏バテしない様に、元気のできる黒酢豚・下味をつけた豚リブロース厚切りに、片栗粉をしつかりまぶし揚げて、トロミのつくまで煮詰めた黒酢ソースをからめた物、付け合わせ：ズッキニーフライは、棒状にカットしたズッキニーを揚げた物、万願寺とうがらしを焼いた物、トマト等。キャロットサラダ：人参・セロリをスライサーで斜め薄スライスして、砂糖・にんにく・酢・オリーブオイルを混ぜ合わせ、枝豆と一緒に和えた物。デザートは梅酒と梅のスクエアーケーキ：刻んだ梅の実の入った季節感あふれるケーキでした。どれも身近な食材でしたが、一手間かけて美味しく作るコツなど教えていただき、とても贅沢な品になりました。



毎年お料理教室を楽しみにされ、多数の方が参加してくださいます。今回ばかりは、Fグループの同窓生も参加されての楽しい実習、そして美味しい食事会になりました。

フェリスグッズ

- ・本革ベンチケース 各1,600円
(赤・茶・紫)
- ・エプロン 各2,000円
(黒ストライプ・)
(黒・赤・茶・青)
- ・スプーン・フォークセット
500円
- ・クリアファイル(2枚組)
200円

《グッズ申し込み先》
家政科同窓会りべるて

Tel・Fax (045)662-0750

ステンドグラス教室



初めての私が親切に教えて下さった大村先生。この様な機会を作つて頂いた役員の皆さん、本当に感謝しております。ありがとうございます。ありがとうございました。

(中川玲子・D 62)

作品は、今年の干支である馬を形取つたものでした。ガラスを繋ぎ合わせる為の、初めてのハンダゴテの扱いに少々緊張したものの、無事に完成させる事が出来ました。家に帰り、窓にかざし、ガラスを通して見える色や微微笑んでしまいました。充実した楽しいひとときを過ごす事ができました。



旅先などで目に見る、光に照らされて、やわらかで暖かい光りへと変化するステンドグラスをとても素敵に感じております。その様なものを、私に作れるのか不安だったのですが、思い切って参加させて頂きました。

作品は、今年の干

2月27日(木)、りべるで主宰「お菓子教室」にてレモンシフォンケーキとバナナシフォンケーキを教えていただきました。

無農薬の安

心できるレモンの皮と果汁を使つたものとフォーリーですりつぶしたバナナにシナモンをきかせたものがオーブンの中で膨らむ様子は見事でした。焼き上がりシフォンは香り高く、季節の果物と生クリームを添えていただきました。



今まででは自己流で作っていましたが、メレンゲの状態や混ぜ合わせる加減、シフォン型からケーキを外す行程等、繊細なプロの技をご教授いただき仕上がりが格段によくなりました。先生直伝のふわふわなシフォンケーキは皆を笑顔にする逸品でお客様へのおもてなしとしても最高です。

(倉掛典子・D 55)

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。
変更がありましたら、りべる宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-0750

お願い

D 34クラス会は参加者減少のため、昨年をもちまして終了いたしました。

お知らせ

D 34 中村淑子

■2013年度決算報告書

(2013.4.1~2014.3.31)

科目		金額(円)
受 収 入	受取利息 事業費(グッズ販売、バザー) 寄付金 そ の 他	911 349,142 0 0
	小 計	350,053
	前年度繰越金	11,431,201
	合 計	11,781,254
支 出	奨学生基金 寄付金 交際費 事業費(グッズ)	500,000 84,942 10,000 13,862
	小 計	608,804
	次年度繰越金	11,172,450
	合 計	11,781,254
繰越金 繰 出	定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行) 定期貯金(同上) 定額貯金(同上) 通常貯金(同上) 普通預金(横浜銀行) 定期預金(横浜銀行)	2,658,826 3,012,000 962,423 1,158,720 372,916 3,007,565
	合 計	11,172,450

■2013年度運営費報告書

(2013.4.1~2014.3.31)

科目		金額(円)
受	基金運営費(学院より)	2,417,618
	合 計	2,417,618
支	消 耗 品 費 旅 費 通 交 費 通 信 ・ 運 搬 費 印 刷 製 本 費 報 酬 手 数 料 会 議 会 合 費 会 外 費 諸 諸 涉 雜 費 繕 修 事 事 費 寄 付 金	24,071 409,880 861,416 802,833 1,970 92,146 100,951 47,330 77,021 0 0 0
	合 計	2,417,618
	収入 - 支出	0

■2014年度予算

2014年6月14日

科目		金額(円)
消 耗 品 費	(事務用)	120,000
	(その他)	10,000 110,000
旅 費 ・ 交 通 費		410,000
通 信 ・ 運 搬 費	(郵便料金) (宅急便)	940,000 930,000 10,000
印 刷 ・ 製 本 費		800,000
報 酬 手 数 料		2,000
会 議 会 合 費		100,000
諸 会 費		100,000
涉 外 費		100,000
雜 費		90,000
修 繕 費		0
事 業 費		0
寄 付 金		0
合 計		2,662,000

会長 金子和恵子
会計 石井亮子
池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2014年5月8日

監査 郷 錦美治美
浅見治美

Fグループの皆さま

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



いつもFグループの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今春、Fグループは学部・大学院合わせて101名の新卒業生、修了生をお迎えしました。卒業後も研鑽を重ね内外で活躍する同窓生のニュースを聞き、そのコンサートを応援することは本当に嬉しいFグループの役目です。

今年度は初めての試みとして、指導者として後

進を育てていらっしゃる卒業生に向けての提案です。生徒さんの発表会をフェリスホールで開きますか?

Fグループでは「山手の丘合同発表会」を開催することにいたしました。第一回は2015年3月28日(土)を予定しています。

お一人の先生ではなくなかが発表会を開き難い昨今です。何人かの先生が集まつて響きの良いフェリスホールで発表会が出来たら楽しいのではないかでしょうか? 生徒さんに母校フェリスを知つていただくチャンスにもなります。

Fグループホームページに随時、最新情報が載りますので是非ご検討下さい。多くの先生方のご参加を期待しております。

昨年度の「研修会とフェリスホールのための募金コンサート」には皆さまからのたくさんのお暖かいご支援を期待しております。

「ジョイントコンサート」を加えた秋の3企画はチケットを購入されてご来聴くださる皆さまに支えられています。今年もFグループは元気に頑張りますが、その運営がこれからも活発に継続出来ますよう、皆さまからのご支援、お力添えをよろしくお願いいたします。

今秋も「音楽学部のための募金コンサート」を行なうプログラムを開催します。中部支部とスイスからの同窓生が多彩なプログラムを開催します。

今年度の「研修会」と「募金コンサート」には今春名譽教授となられた久保浩先生、名倉淑子先生が協力してくださいます。詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

Fグループ寄付のお願い

切り詰めても非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。一口1,000円から受け付けております。
ゆうちょ銀行 00280-3-75184 Fグループ
通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。



音楽学部から新しい風が

音楽学部 学部長 立神 粧子

短大音楽科時代から
支えてこられた久保浩
教授と岡島雅興教授
そして管弦部門の発展
に貢献された名倉淑子
教授の3名の特任教授

が三月に退官され、名誉教授となられました。
ご尽力とご貢献に心よりの感謝を申し上げま
す。

築かれた歴史を今後どう歩んでいくか、教員

一同真摯に取り組んで参ります。同窓会の皆様には母校での演奏会等にお運びいただき、ご声援・ご支援をお願い申し上げます。

今年度 音楽学部は3名の嘱託専任の先生をお迎えしました。音楽芸術学科のたかの舞利准教授はドイツでリゲティに師事した作曲家です。演奏学科の戸田弥生教授はエリザベート王妃コンクールで優勝されたヴァイオリニスト、井出朋子講師は日本音楽コンクールで優勝されたフルート奏者です。

それぞれの素晴らしい経験が今後どのように研究・教育の中で生かされ、学生たちに刺激を与えてくださるかとても楽しみです。

2014年度から定員30名となつた演奏学科

は、伝統ある少人数教育を守りつつ演奏固有の導入教育を組み込み、技術の習得とともに教養ある音楽人の育成を目指しカリキュラムを改革しました。活躍目覚ましい声楽アンサンブルのフラウエンコーラーは少人数アンサンブルを充実させれる取り組みの大きな成果と言えます。副科実技ではバレエの実技レッスンが全学的に大人気です。定員45名の音楽芸術学科は53名が入学しました。

意欲に満ちた元気な学生たちがそれぞれのニーズに合わせ目標に向かって勉強し立派に社会に飛び立っています。

大学HPから新しい動画を配信中です。音楽

2013年夏

音楽の贈り物

ジョイントコンサート
13年9月13日 フェリスホール

昨年は9月13日フェリスホールにてFグループジョイントコンサートを開催いたしました。



13年度出演者

菅彩夏子（62回Vo）	入江裕里子（61回Vo）
あかね（62回Pf）	神戸裕衣（61回Vo）
大野加津子（54回Vn）	新田裕里子（61回Pf）
伊郷彩花（56回Vn）	原野秀子（54回Vn）
渡辺まこと（54回Pf）	中川彩（61回Pf）
西村泉（46回Pf）	伊坪淑子（41回Pf）

◆ジョイントコンサート出演者募集

毎年9月予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者でしたら出演可能です。（書類選考あり）

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

音楽芸術学科と演奏学科から新卒生をお迎えし、卒業後も勉強をお続けになつてゐる同窓生の方々の真摯な演奏にフェリスに繋がれているスピリッツを感じることであります。二台ピアノのとても華やかなスペインの作品に加え、名曲が揃つっていたこともあり、お客様にも大いにお楽しみいただけたのではないかでしようか。

今年は9月15日（月・祝）15時より、山手フェリスホールにて開催いたします。同窓生の皆さま、懐かしの山手の丘へ是非おかけくださいませ！

山手の丘、同じ学び舎で育ったご姉妹の皆様の演奏へ、温かな声援をいただけました。幸いです。秋のフェリスホールでお待ち申し上げております！

出演者も毎年募集いたしておりますので、是非お問い合わせくださいませ。

(担当 海野美栄・44回)



ティータイムコンサート

13年10月18日 フェリスホール

13年度のティータイムコンサートは、ソプラノ岡田彩さん（53回）リコーダー伊豫田祐子さん（37回）オルガン林めぐみさん（36回）で結成されたアンサンブルグループ、ティーポットをお招きして、イギリス音楽の演奏やお話ををしていただきました。



Fグループ2014年度コンサートのご案内

ショイントコンサート

9月15日(月祝)15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール¥1,000
【出演】
声楽 音羽麻紀子(60回)杉江祐子(53回)
ピアノソロ 小松愛(60回)山岸梓乃(50回)
ヴァイオリン 森田綾乃(62回)
合唱 アンサンブルMora
音芸作品展示 石塚翔子(63回)近藤琴絵(63回)
秋山季恵(63回)

研修会

10月17日(金)15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール¥2,000
ピアノ指導のポイント
--ピアノデュオ(2台ピアノ)曲を中心には
【講師】久保浩先生(本学名誉教授)

【テモノストレーナー】
田口(久保)佐緒理(51回)館野(池浦)もと子(51回)

音楽学部のための募金コンサート

11月22日(土)15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール¥2,500
【賛助出演】
ヴァイオリン 名倉淑子先生(本学名誉教授)
チェロ 井上雅代先生(本学講師)

【出演】
合唱 Coro Felice(中部支部)
ピアノ 大橋雅子(43回)栗田麻子(52回)
井手沙耶花(53回)北村まりえ(58回)

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時~17時)
Tel & Fax 045-681-6740
f-group@ferris.ac.jp

研修会

13年11月23日 フェリスホール

今年は10月17日(金)15時から、久保浩先生をお招きし、二台ピアノの研修会を開催いたします。

日「フェリスホールの為の募金コンサート」とタイアップしてお贈りさせていただきました。

前半は講師に宮本とも子先生をお招きし、バッハ時代のオルガン礼拝の研修会を、後半は「募金コンサート」と称し、畠垣佳子さん(48回)によるオルガン演奏、フェリスヴォーカルアンサンブル九州(指揮・土屋広次郎先生、ピアノ・立神粧子先生)による女子合唱演奏、星野聰先生(ピアノ・立神粧子先生)によるバリトン独唱、掘由紀子によるピアノソロ演奏をお贈りいたしました。



学年幹事会

14年3月6日 6号館631教室

出席人数33名。13年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、14年度一般会計収支予算(案)についての報告・承認が行われました。

その後、各役員からジョイントコンサート、研修会、ティータイムコンサート等、昨年度の諸活動について報告がありました。



(担当 菅原麻衣子・50回)



朝倉蒼生先生を偲んで

太田 淑恵（52回）



初めてのレッスンで先生にお会いしたとき、その物腰や雰囲気があまりに素敵で引き込まれてしまつたのを覚えています。毎週レッスンでお会いできるのが楽しみでした。

時々先生のご自宅でレッスンを受けることもあります、お宅は急な坂道の頂上にありましたが、いつも汐汲坂で息を切らしている私も、このだけはスイスイと上れてしまうのです。

先生はご自身には厳しい方でしたが、レッスンは優しく穏やかで、出来ないところは諦めずに繰り返し教えてください、どうしたら上達できるのかいつも親身に考えてくださいました。辛抱強くご指導いただいたことに、本当に感謝の念でいっぱいです。

今でも楽譜の書き込みを見ると当時のレッスンの様子が蘇ってきます。先生への想いとともに、これからも歌い続けていきたいと思います。

先生、沢山のことを教えてくださいましたが、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

北支部

支部長 工藤 羊子（30回）

この支部便りの依頼が来て、もう一年経ったのか・・・と驚いています。この一年は、次回東北地方での演奏会（賛美の会）準備のために時間を費やし、気が付けば2014年になってしまいました。

今年秋、福島での賛美の会を実現すべく活動しております。同時に、各地での懇親会も企画出来ればと思い、各方面の方々と相談中です。

今年の支部便りも、元気に活動している様子をお伝えできないことを心苦しく思いますが、支えて下さる支部のみなさま・本部の方々に感謝しつつ、ゆっくり着実に北部で出来る事を、実現に向けて努力してまいりたいと思います。

中部支部

支部長 牛込 まり（25回）

昨年度も三回コンサートを開催いたしました。ふれっしゅは7名の出演でしたが、華やかでレベルの高いコンサートとなりました。

秋のコンサートはFグループアンサンブル、ビアノソロ、大橋多美子先生のソロのプログラムでした。

曲でしたが、お客様から

支部だより

はお褒めの言葉をいただきました。大橋先生はさすがです。

九月・山口支部
支部長 安波 裕子（24回）

ジユニアコンサートはクリスマス開催が定着し、お客様が大勢来てくださいました。

今年は、ふれっしゅも秋のコンサートも大学から先生をお招きします。多くの方にフェリスを知つていただくチャンスだと思想が付けば2014年になつてしましました。ブルがフェリスホールで歌います。今はそれを向けて練習中です。

関西支部

支部長 桐山 恵子（33回）

2013年6月、京都市エクシブ京都八瀬離宮にて、総会を開催いたしました。岡山、大阪、京都、滋賀から8名の参加をいただき、ご一緒に校歌、賛美歌を斎唱して礼拝をまもりまして会食となりました。

人数が少ないながらも、終始和気あいあいとおしゃべりを楽しみ、八瀬の自然に触れて和やかな一時を過ごすことができました。前回までは、出席者によるミニコンサートを催しておりましたが、今回は礼拝と会食のみになりました。

本年の総会は11月12日に京都で開催される「オールフェリス関西支部総会」とございました。私はキリスト教の学校出身であります。私たちちは欧州の教会などの献歌も致していますので、欧州の教会などで活躍していました。フェリスを知つて頂き同窓生の益々の活躍を期待し、同窓会が少しでもお手伝い出来ますよう心がけております。



2013年8月、合同発表会とフレッシュコンサート「若い音楽家の夕べ」の企画を始めました。

11月、母校フェリスホールの募金コンサートにお誘い頂きウォーカルアンサンブル九州が参加をいたしました。

2014年1月、「福岡音楽の花束コンサートVol.14」を大学の先生

方の紹介演奏や、初めての男声コーラス（コーラルアカデミー）との共演もあり、女声合唱、混声合唱共に大盛況で終えることが出来ました。

フェリス音楽教室
こどもたちとともに59年
大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

Fグループ2013年度決算報告

(2013年4月1日~2014年3月31日)

〈収入の部〉

項目	決算額
終身会費	3,510,000
総会会費	30,500
研修会会費	372,000
ティータイム会費	58,000
ジョイント会費	176,000
宛名シール	14,140
雑収入	77,151
クリスマスコンサート	53,000
小計	4,290,791
前年度繰越金	2,083,965
収入の部合計	6,374,756

〈支出の部〉

項目	決算額
(1)運営費	1,371,926
会議費	2,068
印刷費	60,511
通信費	127,176
人交際費	612,780
事務品費	32,154
備出費	29,286
学年幹事会費	0
特別委員会費	18,800
	415,680
	57,471
	16,000
(2)活動費	2,393,324
総会関係費	542,410
研修会関係費	291,290
ティータイム関係費	103,175
会報関係費	577,140
ジョイント関係費	131,167
リサイタル後援費	112,000
支部関係費	550,240
慶弔関係費	85,902
(3)諸会費	370,000
中高・大学同窓会維持協力会	70,000
300,000	
(4)積立金	460,000
名簿積立金	0
積立金	300,000
山手の丘再販積立	160,000
(5)予備費	0
支出合計	4,595,250
剩余金	1,779,506
支出の部合計	6,374,756

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2014年2月21日

Fグループ 会計監査 柴田美和子 佐々木淑子

Fグループの
ホームページ
&Facebook
隨時更新中!



<http://f-group.hp.org/>

Fグループ会報担当
米田 悅子(35回)

白波瀬早百合(36回)

卒業生だより

綿引さやか(58回)

from once a student
大学を卒業して5年。今も尚、先生や大学のスタッフの方達は変わらず私達生徒のことを温かく見守ってくださっています。「自分の夢の始まりはここだった」と言える場所が、ここフェリス女学院大学であることを私は誇りに思います。

学生課の方が沢山のアドバイスを下さった事、私が初めて「サウンドオブミュージック」のオーディションに合格した時、先生方がクラスのみんなを連れて舞台の応援に駆けつけて下さった事…挙げていくときりがありませんが、フェリスでの大学生活は大きな愛に包まれながら多くの挑戦をすることができた、かけがえの無い時間でした。

「転んだっていい。興味を持つこと、やってみたいと思った事に出会えたならとことんやってごらん。」とフェリスで過ごした時間がそう教えてくれました。

夢であった「レ・ミゼラブル」エポニー役として出演を叶えることが出来、現在は国内・海外でミュージカルの活動を続けさせていただいております。今のが、ミュージカルへの夢を諦めずに進んで来られたのも、フェリスと出会えたからです。フェリスの卒業生として胸を張つてこれからも選んだ道を突き進んでまいります。

心からの感謝を込めて。

【プロフィール】
ミュージカル女優
主な出演作品
「レ・ミゼラブル」



エポニース役
「サウンドオブミュージック」リーズル役
「赤毛のアン」アン役・ダイアナ役
「Ordinary Days」ティップ役
8月 「赤毛のアン」ダイアナ役
韓国ミュージカル
「ON AIR 夜間飛行」アヤ役
オフブロードウェイミュージカル



11月22日(土) フェリスホールにて、卒業後スイスで活躍するピアニスト4名と中部支部コーラスによる募金コンサートを開催いたします。

皆様のご来聴をお待ちしています。
卒業後スイスで活躍するピアニスト4名と中部支部コーラスによる募金コンサートを開催いたします。

募金コンサート



- 大学へ寄付についてのご報告
- フェリスホール張出舞台修繕費としまして、¥1,000,000を寄付いたしました。
- 募金コンサートより¥567,000を音楽学部に寄付いたしました。フェリスホールのパイオルガン調整とマイク修理等に使用されました。
- Fグループ催しでの募金箱等より、学生支援基金へ¥78,14を寄付いたしました。
- Fグループ協力ありがとうございました。

合同発表会のお知らせ

新役員紹介

常任A 藤原 善子(27回)
企画 渥口めぐみ(43回)
小清水桃子(55回)

事務局 金子 明子(43回)

Fグループ事務局(木曜日10時~17時)

17

同窓会支部だより

関西支部

西南支部

フェリス白菊会より

関西支部同窓会は例

度西南支部同窓会総会を開催いたしました。

変わらぬお交わりを感謝いたします。

今年もこのページをお借りして東京支部の活動をご紹介させていただきます。

総会は一〇月に例年通り浜松町東京會館で行われました。学院からは星野事務局長がご出席ください、フェリス女学院の現状、今後の計画等を伺うことができました。東京オリンピックの二〇二〇年はフェリスにとっても創立一五〇周年という大きな節目の年、その準備も着々と進んでいる様です。

午後の講演は大学文学部教授、近藤存志先生が「心に響くイギリス絵画」と題してラファエル前派と一九世紀イギリスの画家たちについてお話下さいました。画像を見ながらの興味深い講義にすっかり引き込まれたひとときでした。

十一月の読書会は宮坂先生が昨年しばらく滞在なさった中国での大学事情や町、教会の様子などを写真を持参でお話下さいました。一月の新春歌舞伎は初めての新歌舞伎座ということで、一〇〇名以上の方がおいで下さい、こけら落し公演を満喫しました。

三月末には恒例となりましたアルカディア市ヶ谷でのお花見ランチ、桜は少し早過ぎましたが楽しいおしゃべりの花が咲きました。

今年一〇月二日の総会では、午後の公演でピアノとチェロの演奏をお楽しみいただきま

す。皆様どうぞお気軽にご参加下さいませ。

待つてお

幹事 篠屋 恵美子 山田 道子

是非おでかけください。お待ちしております。

支部長 菊竹 美枝

東京支部

年通り、11月の第2水曜日、11月13日、お天気に恵れ、神戸異人館に通じる坂にある、中華食館東天閣で開催しました。

○年前に建築された異人館(ビショップ邸)で、横浜山手の丘にも似た地形にフェリスの坂道を歩いた日々を懐しむ友もいました。

総会は、心静かに礼拝から始まりました。長期に渡り支部長として同窓会をまとめて、お働き頂きました清水操様のご挨拶に続いて、今年度より支部長をお引き受け下さる磯野和美様よりご挨拶がありました。

秋岡先生は機材もご持参くださりキーノードベルの演奏で始まり、石橋彰子さん音楽科卒)にお願いしました。

礼拝は同窓生のサークル「ベルリリーズ」のハンドベルの演奏で始め、清水操様の挨拶がございました。キダーさんの指導のもと当時の

子供たちは英語で讃美歌を歌ったり、讃美歌を日本語訳にする難しさのお話で音楽史にまつわる大変興味深いお話をしました。ピアノも弾いてくださいり当時の讃美歌で全員で歌いました。

この度は、童謡歌手として活躍なさっている大先輩大庭照子さんも出席なさいました。乾杯をお願いしましたところ、後期高齢者とおつしやりつつパワーが会場に満ち音頭をとつてくださいました。食後には「ふるさとを歌いましょう」と、全員で歌い、楽しい時間が過ぎて行きました。

分科会も交流の場となり和みました。

年一回の同窓会ですので一人でも多くの

参加を心より願っています。今回山口、熊本、鹿児島からも参加してくださいました。All Ferris の西南支部ですので皆和気藹々とし

ております。

新体育館外観(完成予想図)

(株)竹中工務店



新体育館外観(完成予想図)

(株)竹中工務店

フェリス白菊会 会長 衛藤 恵子

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya(1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2013年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2013年4月1日～2014年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2013年4月1日)		1,007,681
収入	同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグレープ 各@￥70,000×4	280,000
	利息 2013年8月17日	87
	利息 2014年2月22日	102
	小 計	280,189
	収入合計	1,287,870
支出	支部総会お祝い金 東京、関西支部 各@￥20,000×2	40,000
	送料	550
	雑費(お祝い金封)	453
	クリスマス礼拝経費(振込手数料込み)	72,361
	支出合計	113,364
	次年度繰越金	￥1,174,506

以上の通りご報告いたします。

2014年4月1日 会計 小倉由紀子(りべるて)

次に、同窓会費の徴収方法の変更についてです。毎年の同窓会費の徴収率が低く、会の活動の実質的な活動の広がりに手が回らないという問題の対策も協議してきましたが、二〇一五年度多くが同窓会費の追徴作業に割かれているため、入学生から、学納金と一緒に口座振替にて徴収する方法に変更することで準備を始めました。徴収時期は入学時ではなく、標準的な卒業のセメスター(第八セメスター)とする予定です。運

次に、同窓会費の徴収方法の変更についてです。毎年の同窓会費の徴収率が低く、会の活動の実質的な活動の広がりに手が回らないという問題の対策も協議してきましたが、二〇一五年度多くが同窓会費の追徴作業に割かれているため、入学生から、学納金と一緒に口座振替にて徴収する方法に変更することで準備を始めました。徴収時期は入学時ではなく、標準的な卒業のセメスター(第八セメスター)とする予定です。

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2014年12月13日(土)

午前11:00～

《場 所》

カイバー記念講堂

《説教者》

学院長 大塩 武



クリスマス礼拝(2013年)献金先

231,472円

献金総額

- 日本ユニセフ協会 57,868円
- 日本キリスト教海外医療協力会 57,868円
- 難民を助ける会 57,868円
- 社会福祉法人日本医療伝道会 57,868円

57,868円

57,868円

57,868円

57,868円

日頃同窓会の皆様には、大学をお支えいただ
き有難うございます。

さて、大学から、三点ご報告いたします。
まず、山手キャンパスの施設改修結果につい
てです。

同窓会のご協力でカフェエテラスを営業してい
る山手六号館第一別館の改修工事が五月末に完
了しました。歴史的建造物の復元という制約の
中で、横浜市からの補助金をいただきながら工
事を進めましたが、工事の過程で建物の傷みが
予想以上に広範囲に及び、改修に時間を要した
ため、当初の工事期間より大幅に延びる結果と
なりました。先日の中間報告会の折に見学に訪
れた方もいらしたと思いますが、外壁を創建当
時の外観に復元したためグリーン系に統一され、
内装にも手を加えて素敵な空間となりました。

これにより、六号館第一別館は、一階のカフェ
テラスが学生の憩いの場としてより充実する
とともに、同窓生の活動の拠点としても広くご利用いただけるようになつたのはと期待してい
ます。

最後は、この三年間この場をお借りしてご支
援をお願いさせていただきました、本学の東日
本大震災被災学生への奨学金基金についてです。
これまでに同窓会からのご寄付も含めて、総
額八、九八六、六〇七円を基金に充当すること
が出来ました。この金額は、基金の目標額の七
八%に相当します。今年度は、最終的に受給対
象者は三名となりましたが、基金の目標額に対
しては、未だ約一八〇万円の不足となつていま
す。したがって、二〇一四年度についても、学
内において、あらためて教職員への寄付の公募
を行ったところです。

つましましては、学生への給付最終年度となり
ますが、今年度もこの場をお借りして引き続き
のご協力をお願い申しあげます。なお、昨年
度から、この基金へのご寄付は所得税の寄付控
除の対象となりましたので、ご寄付いただける
場合は、ご面倒でも大学にご連絡いただき、所
定の申込書によりお手続きをお願い申しあげま
す。

ご寄付についての問い合わせは、大学総務
課(電話：045-812-8211(代表)
FAX: 045-812-8822)にて承
ります。

今年度も、三同窓会のご発展並びに会員皆様
のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申しあげます。

大学事務部より

サークル紹介

ギリシア哲学会

講師 岡野昌雄先生

日時 第三火曜日13時半～15時
連絡先 光 恵子(S49)
045-893-2012

聖書を学ぶ会

講師 岡野昌雄先生

日時 第二木曜日10時半～12時
連絡先 杉浦昌子(S26)
045-335-1105

世界史講座

講師 株居 洋先生

日時 第三木曜日10時半～12時
連絡先 数原安子(S48)
045-433-5699

キリスト教美術散步

講師 衛藤良恭先生

日時 第二火曜日13時半～15時
連絡先 杉野展子(S54)
同窓会室

英語読書会

指導 吉野洋子(S35)

日時 第三水曜日10時半～12時
連絡先 高橋邑后(S34)
044-755-2379

合唱団

指導 杏の実

日時 第四土曜日12時～15時
連絡先 高田真理(S57)
045-561-8545

指揮

第三森杏実(S47)
※中高二期工事のため場所については責任者もしくはフェリス白菊会にお問い合わせ下さい。
045-561-8545

指揮

三森杏実(S47)
045-561-8545

指揮

吉野洋子(S35)
044-755-2379

永眠者のお届けのあつた方

元理事長 中島 省吾先生

110-131-111-14

片岡 信二先生

110-144-4-22

朝倉 英生先生

110-13-9-3

りてら

片岡 信二先生

110-144-4-22

鈴木 洋子女士

110-144-4-22

大島 千尋子女士

110-144-4-22

平井 千尋子女士

110-144-4-22

柴山 直子女士

110-144-4-22

小野田 緹子女士

110-144-4-22

大野 清子女士

110-144-4-22

鶴嶋 方子女士

110-144-4-22

岸本 寿美子女士

110-144-4-22

北條 寿美子女士

110-144-4-22

中越 瞳子女士

110-144-4-22

岩野 美智子女士

110-144-4-22

吉田 美智子女士

110-144-4-22

渡辺 千尋子女士

110-144-4-22

- トーラ
“with a twinkle in our eyes”
- 開催場所：緑園キャンバス
(両日とも11時～17時)
- 資料至からのお願い
 - ◆「近代女子教育 新学制までの軌跡」が発行されました。ご希望の方は資料室まで。
 - 短期大学・大学の歴史や学生生活に関する資料を収集しています。どんなものでも結構です。是非ご寄贈ください。
 - フェリス女学院資料室

開催場所

資料至からのお願い

編集後記

- 盛夏の中、皆様いかがお過ごしでいらっしゃいましょうか。世の中が急速に変りつつある中で山手は懐さを残しております。今年も会報をお届け出来る幸せを感じてあります。どうぞ明るい明日がありますように! 意見お待ちしております。
- りてら
- Fグループ
- 二〇一四年八月発行
- 担当：家政科同窓会りてら
- 〇四五(六六)〇七五〇
- 〇四五(八一)八六九一
- 〇四五(六八)六七四〇

大祭典 FERRIS FESTIVAL 2014

大祭典

FERRIS FESTIVAL 2014